

目的・事業・研究領域

森林計画学会は森林および林業の計画に関わる理論および技術の発展と普及をはかるため、会員間の連絡をはかり、利用者に対する援助を行うことを目的としています。本会の対象とする分野は、森林の測定技術、数学および統計的手法、情報処理法、森林の機能評価法、森林資源の育成、経営管理手法、森林施業論等です。

本会の会員は名誉会員、正会員、学生会員、海外会員、ならびに購読会員からなります。会員は森林計画に関する諸事項に関心をもち、本会の趣旨に賛同する者とされています。この他に、名誉会員、海外会員、購読会員などが会員となっています。

本会は会員の皆様へのサービス事業として次の事業を行っています。

1. 研究会の開催
2. 共同研究
3. 他学会、そのほか関係諸団体との協力および交流
4. 会誌・学会ニュース・会員名簿・書籍等の発行
5. 会員の顕著な研究業績の表彰および他団体への表彰推薦
6. その他、本会の目的を達成するために必要な事業